

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

第18回シンポジウム

「次世代電動車を牽引する先進電池技術」

日時：2014年12月11日（木）13:30～16:20

会場：豊橋技術科学大学 A-101 講義室

主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会

協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、
IEEE 名古屋支部、自動車技術会

低炭素社会実現に向けて、高性能電池を用いた環境先進車両の開発とその実用化・普及促進が、これまで以上に求められる中、本シンポジウムでは、二次電池・燃料電池技術のここ数年の大きな進展を背景として進んでいる、電気自動車・燃料電池自動車など環境先進車両の開発状況ならびに今後の展望について、この分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きました。

このシンポジウムに140名（学外59名、学内81名）の参加があり、講演後の質疑応答においても参加者からたくさんの質問が寄せられました。

【講演1】

「燃料電池自動車の現状と今後

—JARI での水素・燃料電池自動車の安全性に関する活動紹介—

(財) 日本自動車研究所 FC・EV 研究部 次長 三石 洋之 氏

【講演2】

「NEDO における次世代蓄電技術開発」

(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構

スマートコミュニティ部 主任研究員（兼）蓄電技術開発室長 細井 敬 氏

【講演3】

「超小型モビリティ「FOMM コンセプト One」の設計思想とバッテリー活用技術」

(株) FOMM 代表取締役社長 鶴巻 日出夫 氏

設備の活用

±性評価
安全な放出方法
対応マニュアル
析析
析の把握
析析
析電池の安全性評価
析の火災安全性評価



講演1の様子



講演2の様子



講演3の様子